



イノチ診断室からの 病害虫情報

2019年
11月号



菌核病が発生しやすくなる季節になりました！

今後の発生にご注意ください。 (9/25~10/30までに4件の持ち込み)



キャベツ 菌核病



トマト 菌核病

病原菌	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i> (糸状菌/子のう菌類)
感染作物	ウリ科・ナス科・アブラナ科の野菜類、花き類など (多犯性病害)
症状	白色綿毛状のカビに被われ、カビの中に灰褐色~黒色のネズミの糞状の菌核を形成する 子のう盤(キノコ)を形成する
多発条件	前作の発病圃場(土壌中で2~3年生き延びる) 生育適温：20℃、子のう盤形成：15~20℃で降雨が長く続く場合
対策	被害部・残渣・隔離培地の圃場外への除去 土中深くに埋没(土耕の場合) 圃場の湛水または灌水とポリマルチを使用した太陽熱消毒 水はけの良い土づくりや風通しを良くし湿度を低く保つ 予防剤：セイビアーフロアブル20 治療剤：シグナムWDG、スクレアフロアブル、トップジンM水和剤の散布

※農薬はラベルを確認後ご使用ください。

気象庁
1カ月予報

気温：平年並み~高め 降水量：少なめ~平年並み
日照時間：平年並み~多め

気温が涼しくなると菌核病は発生しやすくなってきます。菌核病以外にも、今年度はコナガ発生率が高くなると予想されています。圃場全体を見回り、しっかりと防除を行いましょう!

